

川崎都市景観・プラットフォーム

13:15 - 13:25	主催者挨拶
13:25 - 14:40	基調講演 官民連携によるまちづくり 道路を活用した「オープンカフェ」 講師 新宿区役所 みどり土木部 交通対策課 交通企画主査 高林 幸雄先生
14:40 - 14:50	休憩
14:50 - 16:20	◆公共空間活用に係る事例報告 【協議会会員】 ◆民間による公共空間活用の事例報告 ～新百合ヶ丘における事例～ 【市民団体】
16:20 - 16:30	閉会挨拶

* プログラムは変更する場合があります

講師紹介

高林 幸雄（たかばやし・ゆきお）

- 一職歴** 昭和61年～ 新宿区入区・土木部工事第二課配属
区道維持工事の設計・監督業務にたずさわる
- 平成2年～ 土木部計画課配属
用地買収や道路改良業務にたずさわる
- 平成8年～ 都市整備部都市施設課配属
都市施設に関する調整業務にたずさわる
- 平成10年～ 土木部みどり公園課公園計画係配属
区立公園の新設や大規模改修を担当。住民参加型の公園づくりにたずさわる
- 平成15年～ 組織改正により環境土木部土木課維持設計係配属
- 平成16年～ 環境土木部土木課東部道路公園事務所配属
区道、区立公園の工事監督を務める
- 平成18年～ 環境土木部管理課監察係配属
工事の立会い、監督、区道の不正使用に対する是正業務にたずさわる
- 平成19年～ 総務部契約管財課財産管理係配属
工事、委託、印刷等の完了検査を担当
- 平成22年～ みどり土木部みどり公園課公園管理係
区立公園の管理事務、苦情対応などにたずさわる
- 平成23年～ 現職

主催●川崎都市景観協議会／川崎市

後援●川崎商工会議所（社）神奈川県建築士事務所協会川崎支部
（社）川崎建設業協会（社）かながわデザイン機構

●川崎都市景観協議会とは

川崎都市景観協議会は平成6年7月に景観事業に携わっている市内7社の企業により発足しました。最大時には14社の会員規模となりましたが、現在は当会の設立趣旨に賛同して戴いている6社の企業で活動しております。景観事業に関する事柄での川崎市行政との協働作業や協議会独自の活動を通じて、川崎市の都市景観事業に貢献致したく現在の活動を行っています。

参加費無料

10月8日（火）

川崎市役所第4庁舎2階ホール

開演 13:15 ～ （開場 12:45）



第1部：基調講演

官民連携によるまちづくり

道路を活用した「オープンカフェ」

新宿駅東口を出て歌舞伎町に向かうまでの新宿3丁目にある、新宿通りと靖国通りにはさまれた一角が「モア街」と呼ばれているエリアです。

今は石畳の道とケヤキ並木が広がり、日本人だけでなく多くの外国人も訪れる名だたる商業地として、多くの人に親しまれていますが、この街の景観やにぎわいは恵まれた立地条件だけで得られたものではありません。

このエリアでも、副都心として発展する新宿西口や歌舞伎町に客を奪われ、活気が失われた時期がありました。

しかし、地元商店街の人たちは課題に立ち向かい、考え、行政とともに新しい取組に挑戦し、多くの課題を乗り越えてきました。民間と行政が一体となったまちづくりの取組みを御紹介します。

(高林 幸雄)

新宿モア街の誕生 ～1st. Challenge～

街の独自性や活気が薄れていく中で、新宿駅前商店街振興組合はまちづくりの勉強をはじめます。

まちづくりを学び、みんなで議論をする中で、様々な世代が合流する街（Mixture of Ages）を目指すことを決定。このエリアを「新宿MOA」と名づけ、「新宿モア基本計画」をつくりました。

そして、新宿区に新しくできた都市整備室にまちづくりの提案を行ったのです。商店街からの提案を受け、区は商店街と「新宿モア研究会」を設置、話し合いを重ねました。

そして、区が基礎工事を行った上に、商店街が御影石の舗装やケヤキ並木、装飾灯などを整備し、商店街の目指す、ヨーロッパのような雰囲気の良い街なみができあがりました。商店街は道の管理にも加わることになりました。



開店前の景観



開店後のにぎわい

オープンカフェの誕生 ～2nd. Challenge～

パブの崩壊などとともに不法占用者と不法投棄、違法販売、放置自転車などが増え、新宿MOAの環境は再び悪化し、怖いイメージの街になっていきました。

そこで平成17年、区と商店街は、ヨーロッパの街なみのイメージを活かし、オープンカフェを開いてみることにしたのです。

当時は道路の使用には厳しい制限があり、社会実験として期間を限定して設置し、それを繰り返すという形で、こつこつと事業を続けてきました。すると違法駐車や不法占用が激減した上、カフェや花によって美観も向上し、街のにぎわいが戻ってきました。

平成23年には都市再生特別措置法の改正によって、「街の賑わい」を目的とする道路の占有が認められ、常設にすることができました。

今、新宿MOAは、毎日昼夜多くの人々ににぎわっています。

モア4番街全景

